

さわやかに吹く風が秋の深まりを知らせてくれます。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあるので、手洗い・うがいの継続や衣服の調節などをして、感染症を予防しましょう。

子どもの目はどうなっている？

10を横にすると眉と目に見えるので、10月10日は「目の愛護デー」と言われています。子供の目を守るためには感染症だけでなく『正しい見え方と異常の違い』にも注意が必要です。異常のサインを知ることが早期発見につながります。

小さな子どもは『見る力』も育ち盛り

子どもの視力は個人差はありますが、成長に合わせて緩やかに発達していきます。

生まれてすぐ
視力0.01



明るい・暗い程度しか認識できません

1歳
視力0.2



立体的に見る力・動くものを見る力など視覚が急速に発達します

3歳
視力0.8から1.0



大人とほぼ同様にまで視覚が育ってきます

5歳
視力1.0



ほとんどの子どもが大人と同じ視覚を身につけます

早く治療するほど回復しやすい

見る力は目から情報を取り入れ、脳で処理する事を毎日繰り返して育ちます。ところが目に異常があると脳に情報が届かず見る力が育ちません。見え方の異常に気づいたら早めに眼科で相談しましょう

こんなサインに注意

日頃の様子を見ていただき、こんな様子が見られたら一度受診してみましょう。



頭を傾げる



目を細める



横目で見る



片目をつぶって見る



片方の目の焦点があわない

正面から『見る様子』をチェックしてみて！

見え方のチェックにおすすめなのが、紙芝居です。左右の目の焦点・物を見る様子が詳しくわかります。

予防接種を受けましょう

予防接種は、自分が病気にかかる事を防ぐだけでなく、人に感染させてしまうことで園や社会全体にその病気がまん延する事を防ぎます。また、病気にかかったとしても、重症化を防げる場合もあります。

新型コロナウイルスの感染拡大で接種のタイミングを逃しているものがあれば計画的に接種をお願いいたします。



インフルエンザの流行が心配されています！

昨年まではソーシャルディスタンスや行動制限で流行が抑えられていましたが、行動制限の解除に加えて、社会全体がインフルエンザへの抵抗力が落ちている事も大流行を起こす要因であるといわれています。日本感染症学会からの情報では、流行を予測する時に参考にしているオーストラリアや隣国の韓国ではインフルエンザの患者が増えているそうです。特に、重症化しやすい香港A型が多くみられていて注意が必要でしょう。10月から予防接種が開始されています。

子どもたちは2回接種が必要になりますので、ぜひ早めに予定を立ててご家族全員で対策をお願いいたします。



衣替えでサイズもチェック

0～4歳までは一生で最も成長が早い時期です。衣替えのついでに衣服や靴のサイズをチェックしてみましょう。また、ズボンのすそが長すぎると転びやすく、袖が長すぎると転んだ時にとっさに手が出ない事もあり、ケガにつながります。子どもの体格に合わせて縫い留めておきましょう。また、気温の変化が大きくなってきたので、調節のしやすい衣服のご用意をお願いいたします。子どもは汗をかきやすいので、厚着にならないように素材もご配慮ください。

体を動かしてチェックしてみましょう

身長だけでなく、身体に合っていることも大事になります。しゃがんだ時にお尻や太ももがきつくないか、腕をあげたときに肩がきつくないか、お腹が出ていないかもチェックしてみましょう。



靴も忘れずにチェックしてみましょう

子どもの足は1年で約1センチ大きくなります。靴がきついと成長の妨げになり、緩すぎると転ぶ原因になります。誕生日や季節の変わり目を目安に足に合っているかチェックしましょう。



秋の全園児内科健診

10月11日（火）に全園児対象の内科検診を行います。

母子手帳を忘れずにお持ちください。なるべくお休みのないようをお願いいたします。

また11月24日（木）は歯科検診を予定しています。

こちらも母子手帳を忘れずにお持ちください。

